

ふれあい



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 豊美会 田代台病院・精神科・神経内科・内科

発行責任者：院長 河野佳宣 〒754-0122 山口県美祢市美東町真名2941番地 TEL 08396-5-0301 FAX 08396-5-0861 <http://tashirodai-hospital.or.jp>

病院理念

心や生活機能に障害をかかえるお年寄りの治療の為に、職員一同が、家族や地域の方々と連携しながら、医療、看護、介護や啓蒙を総合的に提供していきます。

看護理念

「和」の精神のもと、患者・家族・地域の皆様の期待に応えられる看護を提供します。

日本医療機能評価機構
認定第 JC1735 号

田代台病院は、よりよい医療を提供していくために、日本医療機能評価機構の認定を取得しています。

認知症は治療から予防の時代へ

副院長 工藤 良二

認知症はいよいよ治療から予防の時代へと移りつつある。

何を根拠にそう述べるのかというと、ここ数か月の間に臨床精神薬理の雑誌などに各製薬メーカーの認知症予防薬・早期抜本的治療薬の臨床試験の途中経過が発表されてきたからである。早ければ2年後には認知症予防薬の上市がなされるまでになってきている。

それを踏まえて当院では認知症リスクを調べる検査としてMCI（軽度認知障害）スクリーニング検査、およびAPOE遺伝子検査を導入した。どちらも採血のみで調べられるが、注意していただきたいのは認知症を発症しやすいかどうかを調べる検査であり認知症かどうかを調べる検査ではない点、および保険適応外の検査である点である。さらにこの検査で高リスクであっても認知症が必ず発症するものでもなく、逆もまた然りである。

認知症は生活習慣病であると呼ぶ人もいて、規則的な生活、過度のストレスは避けるなどによりアルツハイマー型認知症を引き起こすアミロイドβ蛋白の血中濃度の上昇を防ぎ、脳血管性認知症の原因となる脳血管の変化を抑制できる。

将来日本の高齢者人口は確実に増加するが、だから認知症も増えると結論付けるのはどうかと思う。医学は進歩を続けており癌の5年生存率も上昇している、脳科学も間違いなく進歩を続けており「認知症っぽいから薬のむわ」そんな時代もすぐそこまで来ているように思われる。

※MCIスクリーニング検査・APOE遺伝子検査の詳細は当院へ問い合わせ下さい。



訪問看護

住み慣れた家で安心して 暮らせるようにサポートします



☆精神科訪問看護とは

精神疾患、認知症で自宅療養されている方に、看護師や精神保健福祉士がお伺いして、心身面や生活面への支援をするサービスです。

☆訪問看護のサービス内容について

- 不安や悩みを聞いて、一緒に考え、話し合う
- 規則正しい生活を送れる環境づくりをする
- 薬の必要性を説明し、忘れずに飲める方法を探す
- 病気と上手に付き合っていく方法を一緒に考える

「ご家族に対しては」

- ご家族の病気への理解を深めてもらい、接し方を話し合う
- ご家族の不安や悩み、思いを聴き、一緒に考える
- 周囲の人へ対する不安や戸惑いを共に考え、話し合う

☆これからも

住み慣れた我が家で暮らしたいというご本人の気持ちを大切にご家族、医師、看護師、精神保健福祉士、行政、関係機関等でサポートしていきたいと思っております。在宅生活を維持するためにご本人の状態を把握することはもちろんのことですが、もし在宅生活が困難になった場合は、病院や施設への橋渡しとしての役割を担ってきたいと思います。



本人とお話をして、様子や気づきを皆で共有する連絡ノートに記載します

ご本人・ご家族の心に寄り添った医療・看護を地域の中で行っていきます。



バイタルチェックを行います



薬袋に日付を記入します



薬を箱に日毎に仕分けします

ご利用方法などについては、
お気軽にご相談ください。
フリーダイヤル…0120-044513
(訪問看護直通ではありません)

認知症 ケアのポイント

今回の テーマ

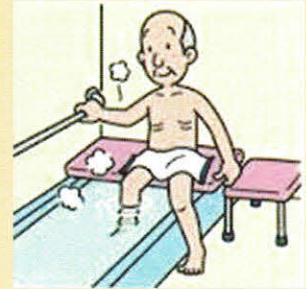
【入浴介助のヒント】

田代台病院 精神科看護・介護勉強会 認知症部会

認知症の進行により、注意力や判断力の低下に加えて、日常生活の動作にも低下がみられ、転倒などの危険が多くなります。そのため今回は、浴室内の工夫と併せて介助方法について紹介します。

1. 入浴前

- ・ 状態の観察
元気がない、疲れている、顔色や表情が悪いなど「いつもとちがう？」と思うところを確認し、調子が悪ければ入浴を中止することも必要です
- ・ 環境調整
浴室と脱衣所の温度差がないように注意します
- ・ 衣類の交換
着替えには清潔なものを用意し、着ていた衣服と間違えないように区別します
また、季節に応じた衣類を準備します



2. 入浴中

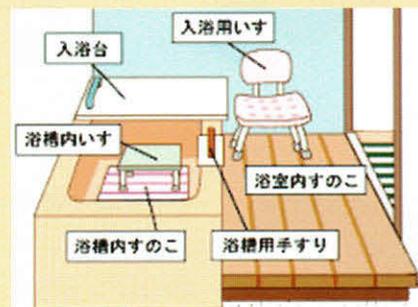


- ・ すべり止めマットや手すり、イス等を必要に応じて用意します
- ・ ボディーソープ、シャンプー等の容器には品名を分かりやすいように書きます
- ・ 湯の温度には注意し、39℃前後が理想的です
また、入浴時間は10分程を目安に長時間の入浴は避けます
- ・ 洗にくい箇所は手伝います

3. 入浴後

- ・ 皮膚の観察も行い、必要に応じてローションやクリームで保湿します
- ・ 下着や服は順番に渡し、自分で出来る事は自分でしてもらいます
- ・ 入浴後は脱水の危険があるため、お茶等の水分摂取をすすめます

認知症の人は全ての事が出来なくなるわけではありません。声掛けや関わりによって出来る事はたくさんあります。「自分で出来る事は自分の力で」ということを意識して関わることで、本人の残された力を活用しましょう。



デイケア
なごみ通信



～そうめん流し(7月)～

当院恒例の夏の風物詩「そうめん流し」に参加してきました。竹の中を流れるそうめんが、暑い夏を涼しく感じさせてくれました。



流れて来るそうめんを上手にすくい、「お出汁も美味しいね～」と大好評。ついつい箸もすすみ、「よう食べた」と話しながらも席を立つ気配はない様子…。最後にスイカも食べることができ、「もう食べれんね」と皆さん大満足でした。会話も弾み、美味しく楽しいひと時を過ごす事ができました。後日、「そうめん流しは楽しかったですね」と盛り上がり、来年の開催が待ち遠しい様子でした。

食べるという行為には、気持ちを落ち着かせ、自分自身に満足感を与えることができる効果があります。そうめん流し等のイベントを行うことは参加する意欲も高まり、他者との交流が図れる場所としても期待が持てます。季節を感じながら、いつもと違った雰囲気食べる事も時にはいかがでしょうか。



作業療法士 岩本 浩行

「第13回田代台病院夏祭り」

日時:平成28年8月27日(土) 18:00～20:00

場所:当院東病棟前広場(雨天時:西病棟ホール等)



暑気払いに当院のお祭りはいかがでしょうか。今年も職員一同、露店、催し等を準備して皆さまのお越しをお待ちしております。



編集
後記

今年の夏も熱帯夜で寝苦しい夜が続きます。その上、急に足がつって目が覚めることがあります。寝ている間に汗をかいて体の水分が不足している証拠です。脱水、熱中症になっては大変です。寝る前に水や麦茶などを飲んで寝るようにしています。皆さんもお気をつけください。(岡屋)